



議員定数削減なくして 市原の未来なし!

市原市議会議員 ますも誠二

ひ
ま
つ
ぶ
し

Vol. 95

ますも誠二 月刊広報誌

私は平成27年の改選から議員として働かせて頂いています。その8年間で、執行部から提案された議案は何百にもおよびます。この全ての議案に対し、ひとつたりとも否決はありません。つまり、それだけ素晴らしい見事な議案だったという結論になるわけですが、しかし、「議論が足りないのではないかと」と、私は感じてなりません。もつと議論を深めれば、これらの議案の精度もさらに高くなったはず。

この議会を8年経験し、まず驚いた事は、質問がない。議員間討議もない。議員発議もありませんでした。

いつの日か「本当に議員が必要なのか」と思うようになっていきました。

市原市では平成26年に議員定数36人から32人に削減しました。あれから9年、人口も1万人減りました。今こそ、

真剣に議会改革を考えなくてはなりません。



議員を削減するには長所と短所があります。まず、長所では、

- (1) 意見がまとめやすく、簡潔に効率的に進められる。
 - (2) 削減により、以前より多くの市民の支持が必要になるため広域的な思考が必須になり、議員の質が上がる。
 - (3) 定数削減で経費節減になる。
- 一方、短所では、
- (1) 議会は最高意思決定機関であり、民意の反映がでなくなる。
 - (2) 少数では行政との「なれ合い」が起きる。

(3) 現職議員の強みが増し、若年層、女性の進出が難しくなる。



これらの意見もありますが、極めて重要な事は、環境や風情、民度など、その街にふさわしい議会である事です。広域な本市には、たくさん課題が山積しています。しかし、中には4年間でほとんど質問しない議員もいます。これでは意思決定機関とは言えません。

私は議員定数27人を目指しています。人口27万人に対し、1万人に1人の割合にし、31常任委員会に変更し、数精鋭且つ、今までにない政策研究集団化し、議会人としての議論の質を高めます。また、市民から問題視されている政務活動費に關しては返還率(60%)を勘案し、現状から50%カットを目指します。以上の事が実現す

ると、約2億7500万円もの予算が節約できます。

議会自ら生み出したこの予算で、誰もがいつか経験する介護福祉に充たしたいのです。救急車は24時間どこでも駆けつけます。しかし、核家族化が進んだ今、介護も同じように24時間体制が求められる時代になりました。

福祉・介護の市民サービスに充てます

訪問介護・看護が受けられる24時間対応サービス

定期巡回サービス

随時対応サービス



訪問介護指示書に基づいて定期的に訪問



必要に応じて訪問

市原市では、この時代に対応できる取り組みを検討しなければなりません。行政も議会も市民一人一人も変わらなければならぬ時です。

皆さんは、主権者であり、この市原市のオーナーです。一緒にこの議会を変えませんか。

自民党 ますも誠二 プロフィール

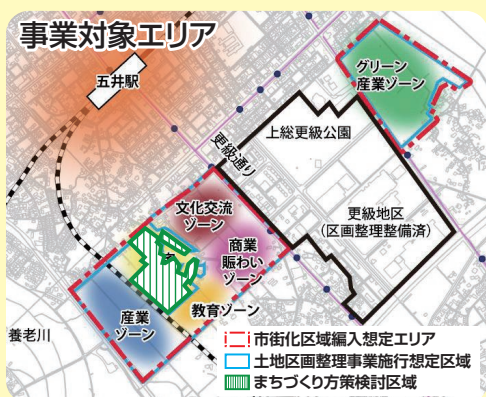
氏名 増茂 誠二
 生年月日 昭和42年12月1日
 職業 市原市議会議員(市原市地域保健医療協議会副会長)
 国士館大学 防災・救助救急総合研究所 嘱託研究員
 学校法人 国際医療福祉専門学校 理事長補佐
 杏林大学 保健学部非常勤講師
 千葉市医師会非常勤講師
 資格・学位 救急救命士 危機管理士 修士(救急救命学)
 学位 国士館大学大学院救急救命システム科修士課程卒業
 千葉大学大学院環境生命医学博士課程単位取得満期退学
 その他 千葉県パワーリフティング協会会長
 市原市剣道連盟顧問(剣道教士七段)



世界から集客できる 大型アリーナの整備を！

五井駅東口周辺市街地
整備推進事業

令和4年に策定した
**市原市拠点別整備基本
計画**では、五井駅東口周
辺市街化調整区域にお
いて、都市的土地利用へ
の転換を図り、市の中心
拠点としてふさわしい
賑わいと魅力を創る方
針です。これはまさに今
後の市原市の未来予想
図であります。



私はこの計画におい
て、土地利用方針の具現
化に向け、ある構想を今
年2月自民党代表質問
で提言しています。それ
が「いちほらアリーナ」
構想です。
その提言の大きな理
由は、①**市原市民会館**の

老朽化により、過去10年
間で11億5千万円もの修
繕費がかさんでいる事。
②本計画の賑わいと魅
力の創出という目的と
合致している事。

③成田空港から約40分
の距離。世界トップレベ
ルのプロスポーツや、海
外からの文化芸能な
ど、過去にない集客力
を望める事。大型避難
所や防災拠点としての
活用。さらには、養老川
氾濫防止のための治水
施設として活用できる
事など、課題解決の起
爆剤になるからです。
市原の最大の課題は若
者の流出です。このア
リーナ整備により、若者
が我が街に誇りを持
ち、我が街の魅力の発
信源として、定住人口に
つなげる原動力に必ず
なるはずです。
今後、いちほらア
リーナの整備に向けて、
私は強く提言してい
ます。



世界トッププロスポーツの祭典



トップアーティストの
文化芸能による祭典



市民の命を守る
防災エリアの確立



市民の命を守る治水システム
(河川氾濫防止機能)

ドクターカーだけでは 市民の命は救えない！

県内初となる市内2医療機関で念願のドクター
カーシステムが開始されました。
令和5年5月1日、帝京大学ちば総合医療セン
ターで開始。
令和5年5月8日、千葉ろっさい病院で開始。

運用時間と出勤範囲

- (1) 帝京大学ちば総合医
療センター 朝9時～
17時(土日を除く)
 - (2) 千葉労災病院 朝8
時半～17時(土日を除く)
- 各病院から概ね5kmの
範囲(市原市内)**

カーでも救えない命が
あります。それが時間が
経過してしまつた心肺
停止患者です。

心肺停止患者を救う
ためには、①居合わせた
市民の早い胸骨圧迫と
②AEDによるショック
③そして、医師や救急救
命士による緊急処置が
相まつてこそ命が救われ
るのです。つまり、居合
わせた市民の対応に勝
るものはないのです。

以上の事から、私はこ
れからも、このAED
ボックスを、市内全域に
設置する事を目標に活
動しています。皆様の地
域にも必ず設置します。

現場にいち早く医療
を介入させ、**救急隊では
行う事ができない高度
な医療を行う事で、市民
の救命率向上と後遺症
の軽減を図ります。**
しかし、このドクター



公約だった「市内にドクターカーシステム導入」を



実現!

令和5年5月8日